

平成29年度第1回岡山市障害者施策推進協議会次第

平成29年5月25日（木）13時30分～
（岡山市保健福祉会館4階 こころの健康相談室）

1 開 会

2 会長選出

3 議 題

(1) 岡山市障害者プラン、第5期岡山市障害福祉計画及び第1期岡山市障害児福祉計画の策定について

(2) その他

3 閉 会

岡山市障害者プラン、第5期岡山市障害福祉計画 及び第1期岡山市障害児福祉計画の策定について

平成30年度から32年度を計画期間として、障害者基本法、障害者総合支援法及び児童福祉法に基づく下記計画を一体的に策定する。

1 岡山市障害者プラン（根拠法令：障害者基本法第11条）

国の障害者基本計画及び県の障害者計画を基本とするとともに、本市における障害者の状況等を踏まえ策定する障害者のための施策に関する基本的な計画。

岡山市では「障害者プラン」の名称で策定しており、現行の岡山市障害者プランは、平成27年度から32年度までの6か年計画として策定しているが、障害福祉計画の策定に合わせて、30年度から32年度までについて、中間見直しを行う。

2 第5期岡山市障害福祉計画（根拠法令：障害者総合支援法第88条）

国が定める基本指針に即して、障害福祉サービスの提供体制の確保その他障害者総合支援法に基づく業務の円滑な実施に関して策定する計画。

施設入所者の地域生活への移行等、成果目標を定めるほか、障害福祉サービス、相談支援及び地域生活支援事業の見込量を定める。

第5期は、平成30年度から32年度を計画期間とする。

3 第1期岡山市障害児福祉計画（根拠法令：児童福祉法第33条の20）

児童福祉法の一部改正により、新たに作成することとなった計画で、国が定める基本指針に即して、障害児通所支援及び障害児相談支援の提供体制の確保その他事業の円滑な実施に関して策定する計画。

障害児支援の提供体制について成果目標を定めるほか、障害児通所支援及び相談支援の見込量を定める。

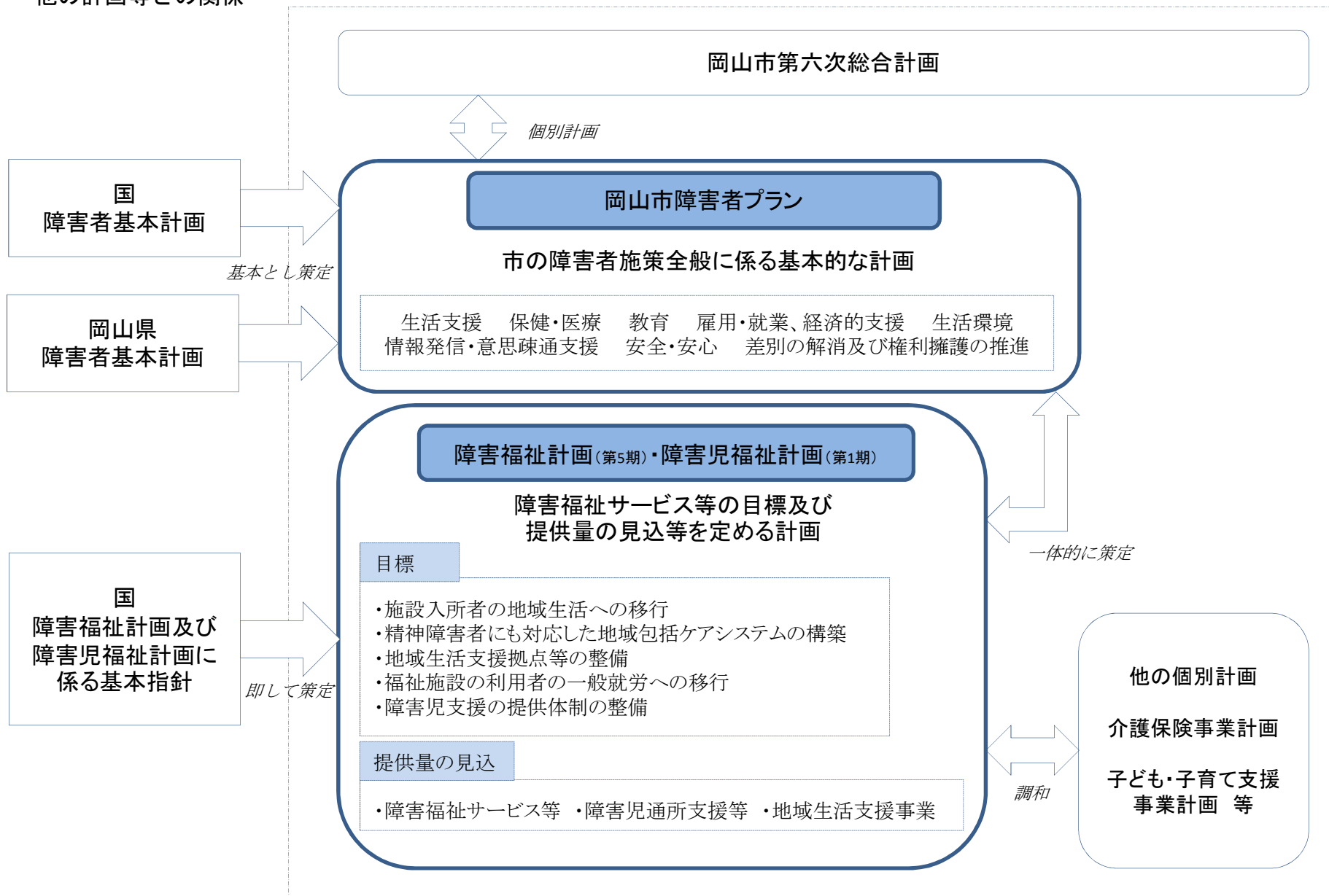
岡山市では、第4期障害福祉計画において障害児支援の項を設け、障害児通所支援及び相談支援の見込量を定めている。

第1期は、平成30年度から32年度を計画期間とする。

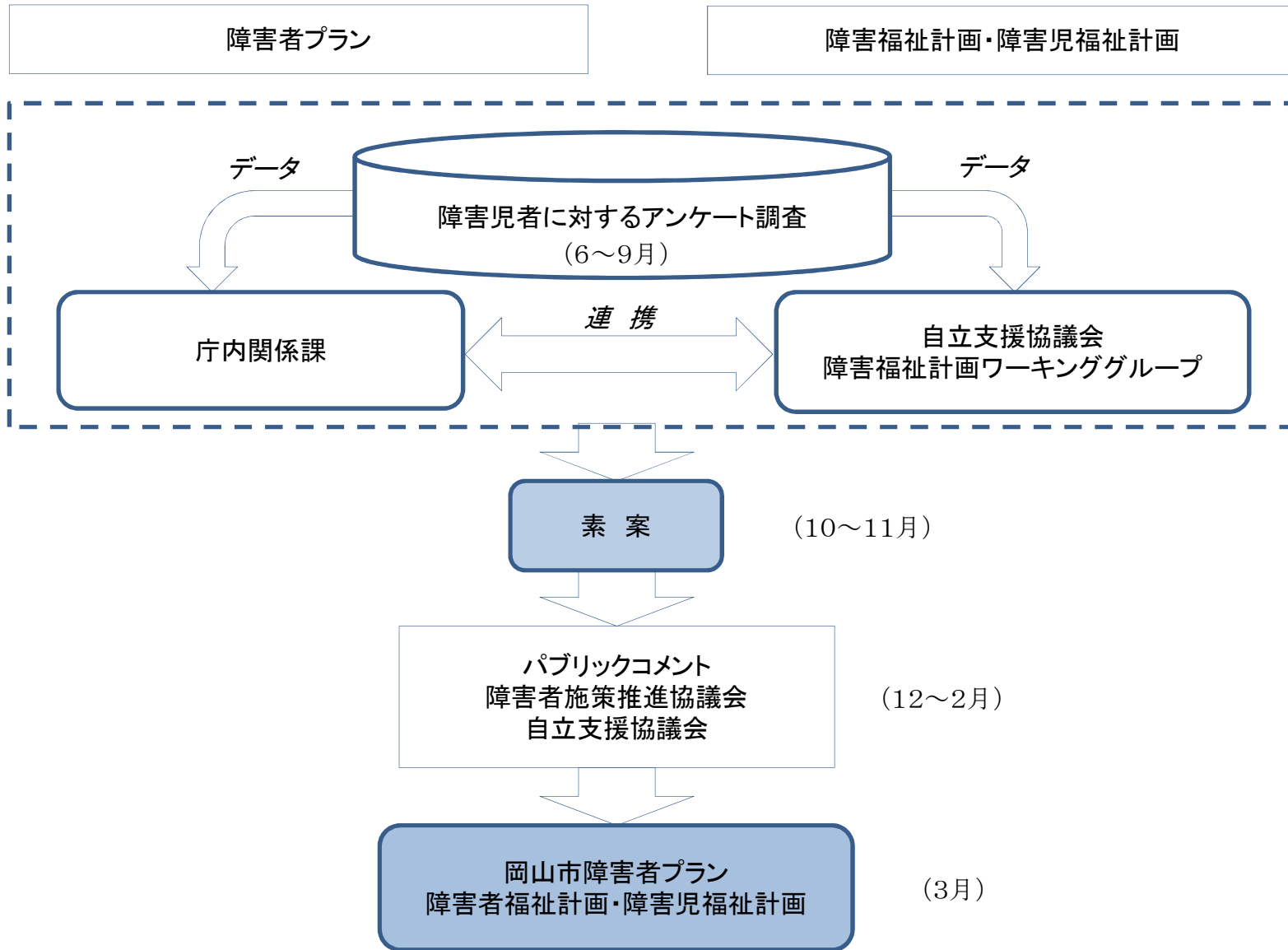
障害福祉計画・障害者プランの策定経過

	障害者計画			障害福祉計画	
	国	岡山県	岡山市		
平成18年度	障害者基本計画 (第2次) (平成15～24年度)	岡山県障害者 長期計画 (平成11～22年度)	前回障害者プラン (平成15～19年度)	第1期計画	18年度
平成19年度			障害者プラン		19年度
平成20年度					第2期計画
平成21年度				(2年間延長)	
平成22年度			障害者プラン		
平成23年度					第3期計画
平成24年度	第4期計画	24年度			
平成25年度		第2期 岡山県障害者計画	25年度		
平成26年度			障害者基本計画 (第3次) (平成25～29年度)	26年度	
平成27年度	障害者プラン			27年度	
平成28年度		第3期 岡山県障害者計画		28年度	
平成29年度			(中間見直し)	29年度	
平成30年度	第5期計画 ・第1期障害児福祉計画			30年度	
平成31年度		障害者基本計画 (次期)		31年度	
平成32年度				32年度	
平成33年度				33年度	
平成34年度				34年度	

他の計画等との関係



計画の策定体制



第4期障害福祉計画の目標数値の達成状況

1 福祉施設から地域生活への移行推進

項目	目標値	説明	26年度	27年度		28年度	
			数値	数値	目標との差	数値	目標との差
地域生活移行者数	90人	平成26年度から平成29年度末までの間で施設入所から地域生活に移行する者の人数	県未調査	県未調査	-	県未調査	-
施設入所者数の減	24人	平成25年度末の施設入所者597人からの減少数(平成29年度末)	0	2	△ 22	8	△ 16

※29.2暫定数値

2 地域生活支援拠点等の整備

目標	箇所数	26年度	27年度	28年度
地域生活拠点の整備	1箇所又は面的な体制の整備	-	-	-

3 福祉施設から一般就労への移行促進

項目	目標値	説明	26年度	27年度		28年度	
			数値	数値	目標との差	数値	目標との差
福祉施設から一般就労への移行者数	102人	平成29年度中に福祉施設利用者のうち一般就労へ移行する者の人数	76	86	△ 16	95	△ 7
就労移行支援事業の利用者数の増	44人	平成25年度末の就労移行支援事業の利用者数73人からの増加数(平成29年度末)	-5	31	△ 13	63	19

※29.2暫定数値

項目	目標値	26年度	27年度		28年度	
		数値	数値	目標との差	数値	目標との差
就労移行率が3割以上の事業所数	平成29年度末の就労移行支援事業所の5割以上	15.4%	50.0%	0.0%	27.3%	△22.7%

障害者福祉計画のサービス見込量に対する実績(年度末の月ごとの利用人数)

1 訪問系サービス

※28年度はH29.2暫定数値

サービスの種類	区分	第3期計画			第4期計画				
		24年度	25年度	26年度	27年度		28年度		29年度
					人数	見込と実績の差	人数	見込と実績の差	
居宅介護	見込量				1,075		1,165		1,255
	実績	808	895	988	1,119	44	1,171	6	
重度訪問介護	見込量				120		125		130
	実績	106	110	107	110	△ 10	113	△ 12	
同行援護	見込量				100		110		120
	実績	67	80	88	91	△ 9	88	△ 22	
行動援護	見込量				40		45		50
	実績	26	29	33	32	△ 8	35	△ 10	

2 日中活動系サービス

サービスの種類	区分	第3期計画			第4期計画				
		24年度	25年度	26年度	27年度		28年度		29年度
					人数	見込と実績の差	人数	見込と実績の差	
生活介護	見込量	950	975	1,000	1,205		1,290		1,375
	実績	1,004	1,034	1,083	1,117	△ 88	1,156	△ 134	
自立訓練(機能訓練)	見込量	4	4	4	4		4		4
	実績	2	1	0	0	△ 4	1	△ 3	
自立訓練(生活訓練)	見込量	46	48	50	64		68		72
	実績	89	64	59	17	△ 47	24	△ 44	
就労移行支援	見込量	170	180	190	95		106		117
	実績	104	73	68	104	9	139	33	
就労継続支援A型	見込量	500	550	600	1,095		1,195		1,295
	実績	678	826	1,018	1,141	46	1,227	32	
就労継続支援B型	見込量	775	800	830	1,140		1,235		1,325
	実績	827	932	971	1,036	△ 104	1,074	△ 161	
療養介護	見込量	17	17	17	160		160		160
	実績	153	156	162	162	2	165	5	
短期入所	見込量	150	160	170					
	実績	154	148	200					
短期入所(福祉型)	見込量				165		185		210
	実績				145	△ 20	134	△ 51	
短期入所(医療型)	見込量				65		75		85
	実績				53	△ 12	50	△ 25	

3 居住系サービス

サービスの種類	区分	第3期計画			第4期計画				
		24年度	25年度	26年度	27年度		28年度		29年度 人数
					人数	見込と実績の差	人数	見込と実績の差	
共同生活援助	見込量	290	300	310	462	△ 35	507	△ 53	552
	実績	355	381	402	427		454		
施設入所支援	見込量	620	615	610	585	14	579	10	573
	実績	601	597	597	599		589		

4 相談支援

サービスの種類	区分	第3期計画			第4期計画				
		24年度	25年度	26年度	27年度		28年度		29年度 人数
					人数	見込と実績の差	人数	見込と実績の差	
計画相談支援	見込量	486	884	1,310	322	180	483	△ 41	644
	実績	65	183	461	502		442		
地域移行支援	見込量	41	41	41	10	△ 8	15	△ 14	20
	実績	2	5	1	2		1		
地域定着支援	見込量	215	255	264	60	7	70	△ 8	80
	実績	26	50	66	67		62		

5 障害児支援

サービスの種類	区分	第3期計画			第4期計画				
		24年度	25年度	26年度	27年度		28年度		29年度 人数
					人数	見込と実績の差	人数	見込と実績の差	
障害児相談支援	見込量				156	△ 78	217	△ 100	278
	実績	6	28	40	78		117		
障害児入所施設 (福祉型・医療型)	見込量				110	△ 13	110	△ 11	110
	実績	108	110	91	97		99		
児童発達支援	見込量				640	256	640	332	640
	実績	693	613	668	896		972		
放課後等デイサービス	見込量				710	72	790	244	870
	実績	399	549	617	782		1,034		
保育所等訪問支援	見込量				20	△ 9	20	6	20
	実績	1	14	8	11		26		
医療型児童発達支援	見込量				10	△ 2	10	△ 5	10
	実績	8	8	6	8		5		

障害福祉計画に係る国の基本指針における目標数値

1 福祉施設から地域生活への移行推進

(参考:第4期)

項目	第5期(H30-32)	第4期(H27-29)
地域生活移行者数	平成28年度末の施設入所者のうち、平成32年度末までの間に地域生活に移行する者の割合 9%+α以上	平成25年度末の施設入所者のうち、平成29年度末までの間に地域生活に移行する者の割合 12%+α以上
施設入所者数の減	平成28年度末の施設入所者からの減少数の割合(平成32年度末) 2%+α以上	平成25年度末の施設入所者からの減少数の割合(平成29年度末) 4%+α以上

※ α は、前期計画の未達成率

2 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

目標	第5期(H30-32)
保健・医療・福祉関係者による協議の場の設置	平成32年度末までに精神障害者地域移行・地域定着推進協議会(又は圏域における協議会の専門部会)などの保健・医療・福祉関係者による協議の場を設置

3 地域生活支援拠点等の整備

目標	第5期(H30-32)	第4期(H27-29)
地域生活拠点の整備	平成32年度末までに 地域生活支援拠点等を各市町村又は各圏域に少なくとも一つ整備	平成29年度末までに 地域生活支援拠点等を各市町村又は各圏域に少なくとも一つ整備

4 福祉施設から一般就労への移行等

項目	第5期 (H30-32)	第4期 (H27-29)
福祉施設から一般就労への移行者数	福祉施設利用者のうち平成32年度中に一般就労へ移行する者の人数 平成28年度の移行実績の 1.5倍+α以上	福祉施設利用者のうち平成29年度中に一般就労へ移行する者の人数 平成24年度の移行実績の 2倍以上
就労移行支援事業の利用者数の増	平成28年度末の就労移行支援事業の利用者数からの増加数(平成32年度末) 2割+α以上	平成25年度末の就労移行支援事業の利用者数からの増加数(平成29年度末) 6割以上
就労移行支援事業の就労移行率の増	就労移行支援事業所のうち平成32年度の就労移行率が3割以上の事業所数 全体の5割以上	就労移行支援事業所のうち平成29年度の就労移行率が3割以上の事業所数 全体の5割以上
就労定着支援事業による職場定着率	就労定着支援事業による支援を開始した時点から1年後の職場定着率が8割以上	

5 障害児支援の提供体制の整備等

項目	第5期 (H30-32)
児童発達支援センターの設置	平成32年度末までに児童発達支援センターを1箇所以上設置
障害児の地域社会への参加・包括の推進	平成32年度末までに保育所等訪問支援を利用できる体制の構築
重症心身障害児の支援体制の確保	主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所を1箇所以上確保
医療的ケア児支援のための関係機関の協議の場の設置	平成30年度末までに保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関等が連携を図るための協議の場を設置

アンケートについて

資料 2

- 1 目的 : 計画の策定にあたり、障害者等の心身の状況、その置かれている環境その他の事情を把握する
- 2 実施期間 : 平成29年6~7月頃
- 3 対象者 : 身体・知的・精神障害者等 約3,300人
- 4 項目概要
○障害者向け

分類	質問番号	質問内容
性別・年齢・家族など	1	回答者
	2	年齢
	3	性別
	4	住所の地域
	5	誰と暮らしているか
生活動作・介助など	6	ひとりでできるか
	7	介助者は誰か
	8	介助者の年齢・性別・就労状況・健康状態
障害等の状況	9	身体障害者手帳等級
	10	身体障害種類
	11	療育手帳等級
	12	精神障害者手帳等級
	13	難病認定の有無
	14	発達障害の有無
	15	高次脳機能障害の有無
	16	高次脳機能障害の関連障害
	17	受けている医療ケア
住まいや暮らしの状況	18	住居は在宅・病院・施設
	19	入所者の生活場所の希望
	20	地域で生活するために必要な支援
	21	必要な支援の具体的な記述
日中の活動状況や就労の意向	22	外出頻度
	23	外出の同伴者
	24	外出目的
	25	外出で困ること
	26	日中の過ごし方
	27	就労形態
	28	就労希望
	29	職業訓練の希望
	30	就労支援
	サービスの利用状況・希望	31
32		介護保険サービス受給の有無
33		要介護度
34		福祉サービスの利用状況・利用希望
35		福祉サービスを利用するときに困ること

分類	質問番号	質問内容
相談相手	36	相談相手
	37	福祉サービスの情報入手先
権利擁護	38	差別の有無
	39	差別された場所
	40	成年後見制度の認知
	41	成年後見人等の有無
災害時の避難等	42	ひとりで避難できるか
	43	近所の支援
	44	災害時に困ること
文化活動等	45	余暇時間の過ごし方
	46	行事への参加状況
	47	自由記述

○障害児の保護者向け

分類	質問番号	質問内容
性別・年齢・家族など	1	回答者
	2	年齢
	3	性別
	4	住所の地域
	5	誰と暮らしているか
生活動作・介助など	6	ひとりでできるか
	7	介助者は誰か
	8	介助者の年齢・性別・健康状態・就労状況
障害等の状況	9	身体障害者手帳等級
	10	身体障害種類
	11	療育手帳等級
	12	精神障害者手帳等級
	13	難病認定の有無
	14	発達障害の有無
	15	高次脳機能障害の有無
	16	高次脳機能障害の関連障害
	17	受けている医療ケア
日中の活動状況や就労の意向	18	日中の定期的な通い先
	19	通う際の同伴者
	20	送迎で困ること
サービスの利用状況・希望	21	児童福祉関係サービス等の利用状況・利用希望
	22	障害支援区分
	23	福祉サービスの利用状況・利用希望
	24	福祉サービスを利用するときに困ること
相談相手	25	育児の際に困っていること(自由記述)
	26	相談相手
	27	福祉サービスの情報入手先
	28	サービス等の要望(自由記述)

福祉に関するアンケート調査 調査票

問1 お答えいただくのは、どなたですか。(〇は1つだけ)

1. 本人(この調査票が郵送された宛名の方)
2. 本人の家族
3. 家族以外の介助者

※これ以降、この調査票が郵送された宛名の方を「あなた」と呼びますので、ご本人(この調査票の対象者：障害のある方)の状況などについて、お答えください。

あなた(宛名の方)の性別・年齢・ご家族などについて

問2 あなたの年齢をお答えください。(平成29年6月1日現在)

満 歳

問3 あなたの性別をお答えください。(〇は1つだけ)

1. 男性
2. 女性

問4 あなたがお住まいの地域はどこですか。(〇は1つだけ)

1. 北区
2. 中区
3. 東区
4. 南区
5. その他

問5 現在、あなたが一緒に暮らしている人は、どなたですか。
(あてはまるものすべてに〇)

1. 父母・兄弟
2. 配偶者(夫または妻)
3. 子ども
4. 祖父母
5. その他()
6. グループホーム、福祉施設等
7. いない(一人で暮らしている)

問6 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。(①から⑩それぞれに○を1つ)

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
① 食事をとる	1	2	3
② トイレ	1	2	3
③ 入浴	1	2	3
④ 衣服の着脱	1	2	3
⑤ 身だしなみ	1	2	3
⑥ 家の中の移動	1	2	3
⑦ 外出	1	2	3
⑧ 家族以外の人との意思疎通	1	2	3
⑨ お金の管理	1	2	3
⑩ 薬の管理	1	2	3

(問6で「一部介助が必要」又は「全部介助が必要」と答えた方)

問7 あなたを介助してくれる方は主に誰ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 父母・兄弟	4. 祖父母
2. 配偶者(夫または妻)	5. ホームヘルパーや施設の職員
3. 子ども	6. その他の人(ボランティア等)

(問7で1.～4.と答えた方)

問8 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、就労状況、健康状態をお答えください。

①年齢(平成29年6月1日現在) 満 歳

②性別(○は1つだけ)

1. 男性	2. 女性
-------	-------

③就労状況(○は1つだけ)

1. 就労している	2. 就労していない
-----------	------------

④健康状態(○は1つだけ)

1. よい	2. ふつう	3. よくない
-------	--------	---------

あなたの障害の状況について

問9 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 1級 | 3. 3級 | 5. 5級 | 7. 持っていない |
| 2. 2級 | 4. 4級 | 6. 6級 | |

問10 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障害をお答えください。(〇は1つだけ)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 視覚障害 | 5. 肢体不自由(下肢) |
| 2. 聴覚障害 | 6. 肢体不自由(体幹) |
| 3. 音声・言語・そしゃく機能障害 | 7. 内部障害(1~6以外) |
| 4. 肢体不自由(上肢) | |

問11 あなたは療育手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|--------|--------|-----------|
| 1. A判定 | 2. B判定 | 3. 持っていない |
|--------|--------|-----------|

問12 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 1級 | 2. 2級 | 3. 3級 | 4. 持っていない |
|-------|-------|-------|-----------|

問13 あなたは難病(特定疾患)の認定を受けていますか。(〇は1つだけ)

※ 難病(特定疾患)とは、重症筋無力症やベーチェット病などの治療法が確立していない疾病その他の特殊な疾病をいいます。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 受けている | 2. 受けていない |
|----------|-----------|

問14 あなたは発達障害として診断されたことがありますか。(〇は1つだけ)

※ 発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問15 あなたは高次脳機能障害として診断されたことがありますか。

(〇は1つだけ)

※ 高次脳機能障害とは、一般に、外傷性脳損傷、脳血管障害等により脳に損傷を受けその後遺症等として生じた記憶障害、注意障害、社会的行動障害などの

認知障害等を指すものとされており、具体的には「会話がうまくかみ合わない」等の症状があります。

1. ある

2. ない

問16 問15で「ある」を選択した場合、その関連障害をお答えください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 視覚障害 | 5. 肢体不自由（下肢） |
| 2. 聴覚障害 | 6. 肢体不自由（体幹） |
| 3. 音声・言語・そしゃく機能障害 | 7. 内部障害（1～6以外） |
| 4. 肢体不自由（上肢） | |

問17 あなたが現在受けている医療ケアをご回答ください。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|--------------------|
| 1. 気管切開 | 7. 中心静脈栄養（IVH） |
| 2. 人工呼吸器（レスピレーター） | 8. 透析 |
| 3. 吸入 | 9. カテーテル留置 |
| 4. 吸引 | 10. ストマ（人工肛門・人工膀胱） |
| 5. 胃ろう・腸ろう | 11. 服薬管理 |
| 6. 鼻腔経管栄養 | 12. その他（ ） |

住まいや暮らしについて

問18 あなたは現在どのように暮らしていますか。（○は1つだけ）

- | |
|---------------------------------|
| 1. 一人で暮らしている |
| 2. 家族と暮らしている |
| 3. グループホームで暮らしている |
| 4. 福祉施設（障害者支援施設、高齢者支援施設）で暮らしている |
| 5. 病院に入院している |
| 6. その他（ ） |

にっちゅうかつどう しゅうろう き
日中活動や就労についてお聞きします。

問22 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|---------------|--------------|
| 1. 毎日外出する | 4. まったく外出しない |
| 2. 1週間に数回外出する | |
| 3. めったに外出しない | |

【問23から問25は、問22で、4. 以外を選択した場合にお答えください。】

問23 あなたが外出する際の主な同伴者は誰ですか。(〇は1つだけ)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. 父母・祖父母・兄弟 | 4. ホームヘルパーや施設の職員 |
| 2. 配偶者(夫または妻) | 5. その他の人(ボランティア等) |
| 3. 子ども | 6. 一人で外出する |

問24 あなたは、どのような目的で外出することが多いですか。
(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|---------------|----------------|
| 1. 通勤・通学・通所 | 6. 趣味やスポーツをする |
| 2. 訓練やリハビリに行く | 7. グループ活動に参加する |
| 3. 医療機関への受診 | 8. 散歩に行く |
| 4. 買い物に行く | 9. その他() |
| 5. 友人・知人に会う | |

問25 外出する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに〇)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 公共交通機関が少ない(ない) |
| 2. 列車やバスの乗り降りが困難 |
| 3. 道路や駅に階段や段差が多い |
| 4. 切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい |
| 5. 外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど) |
| 6. 介助者が確保できない |
| 7. 外出にお金がかかる |
| 8. 周囲の目が気になる |
| 9. 発作など突然の身体の変化が心配 |
| 10. 困った時にどうすればいいのか心配 |
| 11. その他() |

問26 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。（〇は1つだけ）

1. 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている
2. ボランティアなど、収入を得ない活動をしている
3. 専業主婦（主夫）をしている
4. 福祉施設、作業所等に通っている（就労継続支援A型・B型を含む）
5. 病院などのデイケアに通っている
6. リハビリテーションを受けている
7. 自宅で過ごしている
8. 入所している施設や病院等で過ごしている
9. 大学、専門学校、職業訓練校などに通っている
10. その他（ ）

【問26で、「1. 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている」を選択した場合にお答えください。】

問27 どのような勤務形態で働いていますか。（〇は1つだけ）

1. 正職員で他の職員と勤務条件等に違いはない
2. 正職員で短時間勤務などの障害者配慮がある
3. パート・アルバイト等の非常勤職員、派遣職員
4. 自営業、農林水産業など
5. その他（ ）

【問26で、1. 以外を選択した方にお聞きします。】

問28 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いませんか。（〇は1つだけ）

1. 仕事をしたい
2. 仕事はしたくない、できない

問29 収入を得る仕事につくために、職業訓練などを受けたいと思いますか。
(○は1つだけ)

1. すでに職業訓練を受けている
2. 職業訓練を受けたい
3. 職業訓練を受けたくない、受ける必要はない

問30 あなたは、障害者の就労支援として、どのようなことが必要だと思いますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 通勤手段の確保
2. 勤務場所におけるバリアフリー等の配慮
3. 短時間勤務や勤務日数等の配慮
4. 在宅勤務の拡充
5. 職場の障害者理解
6. 職場の上司や同僚に障害への理解があること
7. 職場で個別の配慮(介助や援助等)が受けられること
8. 就労後のフォローなど職場と支援機関の連携
9. 企業ニーズに合った就労訓練
10. 仕事についての職場外での相談対応、支援
11. 賃金向上のための支援
12. その他 ()

障害福祉サービス等の利用についてお聞きします。

問31 あなたは障害支援区分の認定を受けていますか。(○は1つだけ)

- | | | | |
|--------|--------|--------|-----------|
| 1. 区分1 | 3. 区分3 | 5. 区分5 | 7. 受けていない |
| 2. 区分2 | 4. 区分4 | 6. 区分6 | 8. 非該当 |

問32 あなたは介護保険によるサービスを利用していますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 利用している | 2. 利用していない |
|-----------|------------|

【問32で、「1. 利用している」を選択した方にお聞きします。】

問33 該当する要介護度はどれですか。（〇は1つだけ）

1. 要支援1	3. 要介護1	5. 要介護3	7. 要介護5
2. 要支援2	4. 要介護2	6. 要介護4	

問34 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。

（(1)から(22)のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を回答（番号に〇）してください）

	現在利用しているか		今後利用したいか	
	利用している	利用していない	利用したい	利用しない
(1) 居宅介護（ホームヘルプ） 自宅で入浴や排せつ、食事などの介助を行うサービスです。	1	2	1	2
(2) 重度訪問介護 重度の障害があり常に介護が必要な方に、自宅で入浴や排せつ食事などの介助や外出の移動の補助を行うサービスです。	1	2	1	2
(3) 同行援護 視覚障害により移動が著しく困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の援護などを行うサービスです。	1	2	1	2
(4) 行動援護 知的障害や精神障害により行動が困難で常に介護が必要な方に、行動するとき必要な介助や外出時の移動の補助などを行うサービスです。	1	2	1	2
(5) 重度障害者等包括支援 常時介護が必要な方で、介護の必要の程度が著しく高い方に、居宅介護などのサービスを包括的に提供するサービスです。	—	—	1	2

	げんざいりよう 現在利用しているか		こんごりよう 今後利用したいか	
	りようして いる	りようして いない	りよう したい	りよう しない
(6) 短期入所 (ショートステイ) 在宅の障害者(児)を介護する方が病気の 場合などに、障害者が施設に短期間入所 し、入浴、排せつ、食事の介護などを行う サービスです。	1	2	1	2
(7) 療養介護 医療が必要な方で、常に介護を必要とする 方に、主に昼間に病院等において機能訓練、 療養上の管理、看護などを提供するサー ビスです。	1	2	1	2
(8) 生活介護 常に介護が必要な方に、施設で入浴や排 せつ、食事の介護や創作的活動などの機会 を提供するサービスです。	1	2	1	2
(9) 施設入所支援 主として夜間、施設に入所する障害者 (児)に対し、入浴、排せつ、食事の介護な どの支援を行うサービスです。	1	2	1	2
(10) 自立訓練 (機能訓練、生活訓練) 自立した日常生活や社会生活ができるよ う、一定の期間における身体機能や生活 能力向上のために必要な訓練を行うサー ビスです。	1	2	1	2
(11) 宿泊型自立訓練 知的障害や精神障害の方に、一定期間、 居住の場を提供して、帰宅後における生活 能力の維持・向上のための訓練その他の 支援を行うサービスです。	1	2	1	2
(12) 就労移行支援 通常の事業所で働きたい方に、一定の 期間、就労に必要な知識・能力の向上の ための訓練を行うサービスです。	1	2	1	2

	現在利用しているか		今後利用したいか	
	利用している	利用していない	利用したい	利用しない
<p>(13) 就労継続支援（A型） 通常の仕事所で働くことが困難であつて、雇用契約に基づく就労が可能な方に、就労の機会の提供や生産活動等の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>(14) 就労継続支援（B型） 通常の仕事所で働くことが困難であつて、雇用契約に基づく就労が困難な方に、就労の機会の提供や生産活動等の機会の提供、知識や能力の向上のための訓練を行うサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>(15) 共同生活援助（グループホーム） 夜間や休日、共同生活を行う住居で、相談や日常生活上の援助、食事や入浴等の介護を行うサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>(16) 計画相談支援 障害者の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、サービス等利用計画についての相談・作成等の支援を行うものです。</p>	1	2	1	2
<p>(17) 地域移行支援 施設や病院に入所・入院している方が、地域生活に移行するための活動に関する支援を行うサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>(18) 地域定着支援 居宅において単身等で生活する方に常時の連絡体制を確保し、緊急の際に相談・訪問等の必要な支援を行うサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>(19) 移動支援 ひとりでは外出が困難な方にガイドヘルパーを派遣します。</p>	1	2	1	2

	現在利用しているか		今後利用したいか	
	利用している	利用していない	利用したい	利用しない
(20) 日中一時支援 日中において、見守りなどの支援が必要と認められる人に、見守りや日常的な訓練を行うサービスです。	1	2	1	2
(21) 地域活動支援センター 創作的活動又は生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等、機能訓練、社会適応訓練、入浴等のサービスを行うものです。	1	2	1	2
(22) 訪問入浴 訪問により居宅において入浴サービスを提供し、身体障害者の身体の清潔の保持、心身機能の維持等を図るサービスです。	—	—	1	2

問35 福祉サービスを受けようとする時に、困っていることがありますか。
(あてはまるものすべてに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. どのようなサービスが利用できるのかわからない 2. サービス利用の手続きが大変 3. 事業者を選ぶための情報が少ない 4. 利用したいサービスが制度上利用できない 5. 利用者負担について困っている 6. 利用したいと思うサービスがない 7. 利用できる回数や日数が少ない 8. 希望に合った事業者が見つからない 9. 事業者との利用日時などの調整が大変 10. サービスの質が良くない 11. その他 () 12. 特に困っていることはない
--

相談相手についてお聞きします。

問36 あなたは、普段、悩みや困ったことをどなたに相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や親せき
2. 友人・知人
3. 近所の人
4. 職場の上司や同僚
5. 施設の指導員など
6. ホームヘルパーなどサービス事業所の人
7. 障害者団体や家族会
8. かかりつけの医師や看護師
9. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー
10. 民生委員・児童委員
11. 相談支援事業所などの民間の相談窓口 (相談支援専門員等)
12. 行政機関の相談窓口
13. その他 ()

問37 あなたは障害のことや福祉サービスなどに関する情報を、どこから知ることが多いですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 本や新聞、雑誌の記事、テレビやラジオのニュース
2. 行政機関の広報誌
3. インターネット
4. 家族や親せき、友人・知人
5. サービス事業所の人や施設職員
6. 障害者団体や家族会 (団体の機関誌など)
7. かかりつけの医師や看護師
8. 病院のケースワーカーや介護保険のケアマネージャー
9. 民生委員・児童委員
10. 相談支援事業所などの民間の相談窓口 (相談支援専門員等)
11. 行政機関の相談窓口
12. その他 ()

けんりようご き
権利擁護についてお聞きします。

問38 あなたは、障害があることで差別や嫌な思いをする(した)ことがありますか。
(〇は1つだけ)

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1. ある | 2. 少しある | 3. ない |
|-------|---------|-------|

【問38で、1. 又は2. と回答された方にお聞きします。】

問39 どのような場所で差別や嫌な思いをしましたか。(あてはまるものすべてに〇)

- | | |
|-------------|--------------|
| 1. 学校・仕事場 | 5. 病院などの医療機関 |
| 2. 仕事を探するとき | 6. 住んでいる地域 |
| 3. 外出先 | 7. その他 () |
| 4. 余暇を楽しむとき | |

問40 成年後見制度についてご存じですか。(〇は1つだけ)

- | |
|-------------------------|
| 1. 名前も内容も知っている |
| 2. 名前を聞いたことがあるが、内容は知らない |
| 3. 名前も内容も知らない |

問41 あなたには成年後見人等がついていますか。(〇は1つだけ)

- | | |
|----------|--------|
| 1. 成年後見人 | 3. 補助人 |
| 2. 保佐人 | 4. いない |

さいがいじ ひなんとう き
災害時の避難等についてお聞きします。

問42 あなたは、火事や地震等の災害時に一人で避難できますか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|--------|---------|----------|
| 1. できる | 2. できない | 3. わからない |
|--------|---------|----------|

問43 家族が不在の場合や一人暮らしの場合、近所にあなたを助けてくれる人はいますか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|-------|--------|----------|
| 1. いる | 2. いない | 3. わからない |
|-------|--------|----------|

問44 火事や地震等の災害時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 投薬や治療が受けられない
2. 補装具の使用が困難になる
3. 補装具や日常生活用具の入手ができなくなる
4. 救助を求めることができない
5. 安全なところまで、迅速に避難することができない
6. 被害状況、避難場所などの情報が入手できない
7. 周囲とコミュニケーションがとれない
8. 避難場所の設備(トイレ等)や生活環境が不安
9. その他 ()
10. 特にない

文化活動等についてお聞きします。

問45 あなたは、学校や職場、福祉サービス事業所へ通う時間以外の余暇時間にどのような活動をしていますか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|---------------|-------------------|
| 1. スポーツ | 4. その他 |
| 2. 外出(買い物など) | () |
| 3. 趣味(音楽鑑賞など) | 5. ほとんど余暇活動をしていない |

問46 あなたは、最近1年間に次の行事などに参加していますか。参加したものがあれば選んでください。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|----------------|-------------|
| 1. 地域の行事 | 4. 学習会や講演会 |
| 2. 趣味などのサークル活動 | 5. 参加できていない |
| 3. スポーツ活動 | 6. その他 () |

あなたへの質問は以上です。最後に、どんな暮らしがしたいか、そのためにはどんな支援やサービスがあればよいか、また、保健・医療・福祉サービスへのご意見、ご要望やあなたの生活上の悩みなど、何でも結構ですのでご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

福祉に関するアンケート調査 調査票

問1 お答えいただくのは、どなたですか。(〇は1つだけ)

1. お子さんの^{ふぼ}父母
2. お子さんの^{かぞく}家族(父母以外)
3. その他()

お子さんの^{せいべつ}性別・^{ねんれい}年齢・^{かぞく}ご家族などについて

問2 お子さんの^{ねんれい}年齢をお答えください。(平成29年6月1日現在)
満 歳

問3 お子さんの^{せいべつ}性別をお答えください。(〇は1つだけ)

1. ^{だんせい}男性
2. ^{じょせい}女性

問4 お子さんがお住まいの^{ちいき}地域はどこですか。(〇は1つだけ)

1. ^{きたく}北区
2. ^{なかく}中区
3. ^{ひがしく}東区
4. ^{みなみく}南区
5. ^たその他

問5 現在、お子さんが一緒に暮らしている人は、どなたですか。
(あてはまるものすべてに〇)

1. ^{ちち}父
 2. ^{はは}母
 3. ^{きょうだいしまい}兄弟姉妹
 4. ^{そふぼ}祖父母
 5. ^{しょうがいじにゆうしょしせつとう}障害児入所施設等
 6. ^たその他
- ()

問6 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。①から⑩のそれぞれにお答えください。(①から⑩それぞれに○を1つ)

項目	ひとりでできる	一部介助が必要	全部介助が必要
① 食事をとる	1	2	3
② トイレ	1	2	3
③ 入浴	1	2	3
④ 衣服の着脱	1	2	3
⑤ 家の中の移動	1	2	3
⑥ 通園・通学・通所	1	2	3
⑦ 慣れていない場所への外出	1	2	3
⑧ 家族以外の人との意思疎通	1	2	3
⑨ お金の管理	1	2	3
⑩ 薬の管理	1	2	3

（問6で「一部介助が必要」又は「全部介助が必要」と答えた方）

問7 主に介助する方は誰ですか。（あてはまるものすべてに○）

- | | |
|------|--------------|
| 1. 父 | 3. その他の家族（ ） |
| 2. 母 | 4. その他（ ） |

（問7で1.～3.と答えた方）

問8 お子さんを介助する家族で、特に中心となっている方の年齢、性別、就労状況、健康状態をお答えください。

①年齢（平成29年6月1日現在） 満 歳

②性別（○は1つだけ）

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

③就労状況（○は1つだけ）

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 就労している | 2. 就労していない |
|-----------|------------|

④健康状態（○は1つだけ）

- | | | |
|-------|--------|---------|
| 1. よい | 2. ふつう | 3. よくない |
|-------|--------|---------|

お子さんの障害の状況について

問9 お子さんは身体障害者手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 1級 | 3. 3級 | 5. 5級 | 7. 持っていない |
| 2. 2級 | 4. 4級 | 6. 6級 | |

問10 身体障害者手帳をお持ちの場合、主たる障害をお答えください。(〇は1つだけ)

- | | |
|-------------------|----------------|
| 1. 視覚障害 | 5. 肢体不自由(下肢) |
| 2. 聴覚障害 | 6. 肢体不自由(体幹) |
| 3. 音声・言語・そしゃく機能障害 | 7. 内部障害(1~6以外) |
| 4. 肢体不自由(上肢) | |

問11 お子さんは療育手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

- | | | |
|--------|--------|-----------|
| 1. A判定 | 2. B判定 | 3. 持っていない |
|--------|--------|-----------|

問12 お子さんは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(〇は1つだけ)

- | | | | |
|-------|-------|-------|-----------|
| 1. 1級 | 2. 2級 | 3. 3級 | 4. 持っていない |
|-------|-------|-------|-----------|

問13 お子さんは難病(特定疾患)の認定を受けていますか。(〇は1つだけ)

※ 難病(特定疾患)とは、重症筋無力症やベーチェット病などの治療法が確立していない疾病その他の特殊な疾病をいいます。

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 受けている | 2. 受けていない |
|----------|-----------|

問14 お子さんは発達障害として診断されたことがありますか。(〇は1つだけ)

※ 発達障害とは、自閉症、アスペルガー症候群その他の広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害などをいいます。

- | | |
|-------|-------|
| 1. ある | 2. ない |
|-------|-------|

問15 お子さんは高次脳機能障害として診断されたことがありますか。
 (○は1つだけ)

※ 高次脳機能障害とは、一般に、外傷性脳損傷、脳血管障害等により脳に損傷を受けその後遺症等として生じた記憶障害、注意障害、社会的行動障害などの認知障害等を指すものとされており、具体的には「会話がうまくみ合わない」等の症状があります。

1. ある	2. ない
-------	-------

問16 問15で「ある」を選択した場合、その関連障害をお答えください。
 (あてはまるものすべてに○)

1. 視覚障害	5. 肢体不自由 (下肢)
2. 聴覚障害	6. 肢体不自由 (体幹)
3. 音声・言語・そしゃく機能障害	7. 内部障害 (1~6以外)
4. 肢体不自由 (上肢)	

問17 お子さんが現在受けている医療ケアをご回答ください。
 (あてはまるものすべてに○)

1. 気管切開	7. 中心静脈栄養 (IVH)
2. 人工呼吸器 (レスピレーター)	8. 透析
3. 吸入	9. カテーテル留置
4. 吸引	10. ストマ (人工肛門・人工膀胱)
5. 胃ろう・腸ろう	11. 服薬管理
6. 鼻腔経管栄養	12. その他 ()

日中についてお聞きします。

問18 お子さんが平日の日中に定期的に通っている場所はどこですか。
(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|-------------------|--------------|
| 1. 保育園・幼稚園・認定こども園 | 4. 特別支援学校 |
| 2. 児童発達支援事業所 | 5. その他 () |
| 3. 小学校・中学校・高等学校 | 6. ほとんど外出しない |

【問19から問20は、問18で、6. 以外を選択した場合にお答えください。】

問19 日中に定期的に通う際の主な送迎は誰が行いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|------------|-------------------|
| 1. 父 | 4. ホームヘルパーや施設の職員 |
| 2. 母 | 5. その他の人(ボランティア等) |
| 3. 父母以外の家族 | 6. 一人で通う |

問20 送迎する時に困ることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

- | |
|----------------------------------|
| 1. 公共交通機関が少ない(ない) |
| 2. 列車やバスの乗り降りが困難 |
| 3. 道路や駅で交通事情や施設に不便や危険を感じることもある |
| 4. 切符の買い方や乗換えの方法がわかりにくい |
| 5. 外出先の建物の設備が不便(通路、トイレ、エレベーターなど) |
| 6. 介助者が確保できない |
| 7. 送迎のため他の子どもの世話ができない |
| 8. 外出にお金がかかる |
| 9. 周囲の目が気になる |
| 10. 発作など突然の身体の変化が心配 |
| 11. 困った時にどうすればいいのかが心配 |
| 12. その他 () |

福祉サービス等の利用についてお聞きします。

問2 1 お子さんは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。（（1）から（9）のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を回答（番号に○）してください）

	現在利用しているか		今後利用したいか	
	利用している	利用していない	利用したい	利用しない
<p>(1) 児童発達支援</p> <p>就学前の障害児に対して、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の取得の支援、集団生活への適応訓練などの支援を行うサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>(2) 放課後等デイサービス</p> <p>学校の授業終了後や学校の休校日に、児童発達支援センター等の施設に通い、生活能力向上のために必要な訓練や、社会との交流の促進等の支援を行うサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>(3) 保育所等訪問支援</p> <p>保育所等を訪問し、障害児以外の児童との集団生活の適応のための専門的な支援などを行うサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>(4) 医療型児童発達支援</p> <p>日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の取得の支援、集団生活への適応訓練等の支援と治療を行うサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>(5) 福祉型児童入所支援</p> <p>障害児入所施設に入所する障害児に対して保護・日常生活の指導や技能の取得の支援を行うサービスです。</p>	1	2	1	2
<p>(6) 医療型児童入所支援</p> <p>障害児入所施設や指定医療機関に入所等をする障害児に対して、保護・日常生活の指導や知識技能の付与や治療を行うサービスです。</p>	1	2	1	2

	現在利用しているか		今後利用したいか	
	利用している	利用していない	利用したい	利用しない
(7) 障害児相談支援 障害児の抱える課題の解決や適切なサービス利用に向けて、サービス等利用計画についての相談・作成等の支援を行うものです。	1	2	1	2
(8) 移動支援 ひとりでは外出が困難な方にガイドヘルパーを派遣します。	1	2	1	2
(9) 日中一時支援 日中において、見守りなどの支援が必要と認められる人に、見守りや日常的な訓練を行うサービスです。	1	2	1	2

問22 お子さんは障害支援区分の認定を受けていますか。(〇は1つだけ)

1. 区分1	3. 区分3	5. 区分5	7. 受けていない
2. 区分2	4. 区分4	6. 区分6	8. 非該当

問23 お子さんは次のサービスを利用していますか。また、今後利用したいと考えますか。((1) から (5) のそれぞれについて、「現在利用しているか」と「今後利用したいか」の両方を回答(番号に〇)してください)

	現在利用しているか		今後利用したいか	
	利用している	利用していない	利用したい	利用しない
(1) 居宅介護(ホームヘルプ) 自宅で入浴や排せつ、食事などの介助を行うサービスです。	1	2	1	2
(2) 同行援護 視覚障害により移動が著しく困難な方に、外出に必要な情報の提供や移動の援護などを行うサービスです。	1	2	1	2

なや ふたんかん き
悩みや負担感などについてお聞きします。

問25 お子さんを育てていくうえで、悩んでいること、困っていること、負担に感じていることについて、自由にお書きください。

とい 問26 お子さんを育てていくうえでの悩みや困ったことをどなたに相談しますか。
(あてはまるものすべてに○)

1. 家族や親せき
2. 友人・知人
3. 近所の人
4. 職場の上司や同僚
5. 保育所、幼稚園、学校の先生
6. 施設の指導員など
7. ホームヘルパーなどサービス事業所の人
8. 障害者団体や家族会
9. かかりつけの医師や看護師
10. 病院のケースワーカー
11. 民生委員・児童委員
12. 相談支援事業所などの民間の相談窓口（相談支援専門員等）
13. 行政機関の相談窓口
14. その他（)

会議録

会議の名称	岡山市障害者施策推進協議会（平成 29 年度第 1 回）
開催日時	平成 29 年 5 月 25 日（木）13 時 30 分～14 時 40 分
開催場所	岡山市保健福祉会館 4 階 こころの健康相談室 （北区鹿田町一丁目）
出席者	委員 15 人（別紙のとおり）
会議内容	別添次第のとおり
会議資料	別添のとおり（次第、資料）
会議録の作成方法	要点記録

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）
<p>1. 開会 保健福祉局長 森安 浩一郎 あいさつ</p> <p>2. 委員紹介、事務局紹介</p> <p>3. 議事 傍聴 2 人</p> <p>(1) 岡山市障害者プラン、第 5 期岡山市障害福祉計画及び第 1 期岡山市障害児福祉計画の策定について （事務局説明後、質疑応答及び意見）</p> <p>(委員) 地域生活支援拠点の整備について具体的にはどういった内容のものになるのか。 （事務局）地域で障害者が安心して暮らしていける体制として、24 時間 365 日の相談支援体制、緊急時の受入体制の整備などが内容になる。岡山市では自立支援協議会の 3 つの部会での連携を強化することによって体制を整備していきたい。 （委員）高齢者にも相談支援拠点、センターができています。市民に分かりやすい形で整備してほしい。 （事務局）地域包括ケアの考え方で高齢者関係ともしっかりと連携していきたい。 （委員）精神障害者は夜間に不安になり相談の必要性が高まる。夜間に不安になった時に出向いてくれるのか。 （事務局）相談内容によっては必要に応じて出向いたり、緊急の受け入れをする体制を整備していきたい。 （委員）自立支援協議会の 3 箇所というのはどこか。それと地域生活支援拠点との関係はどうなるのか。 （事務局）自立支援協議会では、地域部会として中央北、東部、南西の 3 つが活動している。部会の中での連携、部会同士の連携を強化していく中で、地域生活支援拠点の機能を果たしていきたい。国は、多機能拠点型と面的整備の型を示しており、岡山市では組み合わせで実現していくことになると思う。</p>

(委員) 岡山市では地域部会が活発に活動しているので、包括的にエリアで協力している地域部会を活用していくのがいいのではないかと思います。

(委員) 目標設定にあたっては、アンケートの結果をもとに決めていくのか。

(事務局) 国の基本指針をもとにアンケートの結果とワーキンググループで岡山市の状況を聞きながら決めていきたい。

(委員) 保育所等訪問支援事業について、30年度の法改正で対象が拡大される。どんな事業か説明してほしい。

(事務局) 保護者と事業者の契約によって、事業者が保育所・幼稚園・小学校等に赴いて、保育所等の職員と連携して、障害児の支援を行うサービスで、30年度の法改正では、派遣先の拡大が決まっている。

(委員) 一般就労の移行については、A型等からの移行は対象になるのか。

(事務局) 対象になる。

(委員) 一般就労に移行した後、A型に戻り、再度一般就労するケースがある。

(事務局) 第5期では、定着についても目標を定めていきたい。30年度からは、新たに就労定着支援サービスが始まる。また、現在、岡山市でも一般就労した方が交流できる場を作って、職場定着を支援している。

(委員) アンケートは国がひな型を示しているのか。

(事務局) 障害者に対するアンケートについては、3年前に国が示したものを基にしている。

(委員) 今回のアンケートでは難しいが、サービスに対する満足度や利用のしやすさなどについても質問すれば、実感と属性とのリンクでどこが大切かとらえられるのではないか。

(事務局) 参考にさせていただく。

(委員) 医療的なケアを必要とする児童が学校に通っているケースが多くなっていると聞いている。

(事務局) 国の指針でも、保健・医療・障害福祉・保育・教育等の関係機関等が連携を図るための協議の場を設置するように示されている。岡山市でも連携を強化していきたい。

(委員) 現計画では、地域移行支援、地域定着支援の見込はどのように決めたのか。

(事務局) 利用実態に基づいて見込んだ。

(委員) 計画相談支援の利用者数の伸びが止まってきているようだが、理由は何か。

(事務局) 事業者は増えてきたが、少し伸びが止まってきている。

(委員) アンケート内容は前回のものとおおむね同じか。

(事務局) おおむね同じである。

(委員) 一般就労に移行した後、A型に戻り、再度一般就労するケースについて、どうカウントするか、決まっているか。

(事務局) 決まりはないと考えられるが、年度内でダブルカウントにならないよう精査してカウントしたい。

(委員) 一般就労への移行は増えてきているが、年度が替わると同じ人をまたカウントすることがあるか。

(事務局) 事業所に移行人数を確認して集計するので、同一年度内でダブルカウントはないか、少ないと考えるが、年度が替わると同じ人をカウントすることはある。

(委員) 施設から地域生活への移行はどのように進んでいくのか。

(事務局) 施設にいるときに自立に向けた支援をしていただいて、グループホームや一人暮らしに移行していく。

(委員) グループホームへの移行は、地域移行になるのか。

(事務局) グループホームについても、地域移行になる。また、グループホームから、一人暮らしや家族との同居などへの支援も引き続き行っている。

(委員) 地域の行事に参加したり、町内会に参加したり、いろいろな活動をしながら地域の中で暮らすことがグループホームの基本的なスタイルになっている。

(事務局) グループホームにいる方も、日中は一般就労されたり、就労継続支援を受けられたりしながら、夜間の支援を受けられている。

(会長) 事務局には、委員の皆様から出た様々なご意見等を踏まえて、計画の策定作業をお願いします。また、アンケートの内容の調整は、会長にご一任ください。

(2) その他

(事務局から参考資料について案内した)

3 閉会